

「出会いは人を変え、人生を変える」

校長だより

平成30年12月12日(水)

第19号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長) 那覇西高等学校長 長濱 雅仁
「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」 - ヘレンケラー -

” Once we share goals, we are all brothers and sisters ! ”

夢の実現とは、日々の地味な努力の積み重ねによってもたらされるものに他ならない。(稲盛和夫)

◎期末テスト終了。(本校は夢のかけらを日々拾う ドリームキャッチャースクールです)

◇学校行事、大会結果、イベント等

- 平成30年度善行青少年並びに青少年育成功労者表彰受賞者(12月8日なは教育の日で受賞)
(個人の部) 真喜屋世利華さん(3-6):9年間のガールスカウト活動の実績。
(団体の部) 男子サッカー部:早朝講座の時間帯における地域清掃活動の実績。
- 第14回 IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」標語部門江洲宇翔君(2-9)が見事優秀賞を獲得しました。S:知らない人 N:名前と行動 S:知られてる
- インターンシップが12月11日より13日まで行われます。那覇西生徒として誇りある行動を!10日(月)の遅刻生がなんと19名!雨が降ったら遅刻生が増えるではインターンシップが不安です!
- 男子ソフトテニス九州新人大会結果:団体は予選リーグ敗退、個人では座波晃大(2-5)・外間克己(1-6)ペア、北川大翔(1-6)・宮城洋(1-6)ペアが3回戦敗退、目指せベスト16!

●校内外の小さな変化・成果に皆さん、気がつきましたか?

- 12月5日(水) 激励勝力レーが3年生全員に提供されました。PTAの皆さん、3年担任、友利先生お疲れさまでした。これで3年生はかなりクンチがついたようです。
- 12月9日(日) CGG運動の一環で行われた金城公園周辺の清掃活動に野球部、陸上部、ダンス部、ボランティア部、サッカー部、ボクシング部が参加し、汗を流してくれました。感謝、感謝!
- 12月は読書月間です。11月にクラス全員貸し出しを達成したクラスは1-1、1-2、1-4、1-5、1-6、1-7、1-9の7クラスでした。さあ、12月はどこのクラスでしょうか?
- 12月10日より受験対策特別授業がセミナーハウスでスタートしました。3年生が「チーム那覇西」となり、難関の大学等に挑戦するための試みです。先生方も毎時間生徒に寄り添ってくれています。感謝。
- 11月30日(金)1学年進路学習会で北見俊則先生による「自己肯定感を育む志教育」の講演会が開催されました。志を持つことができれば何倍もパワーが出て充実した人生を送ることができる。「志=目的+手段+対象+動詞」自利利他の生き方に通ずる講座内容でした。

校長講話(12月6日)

全校生徒の皆さん、おはようございます。この3年間で皆さんは本当に大きく成長したと校長として実感しています。とりわけ上級生である3年生の皆さんに心から感謝します。1,2年生の皆さんはぜひとも3年生の思いを引き継いでください。ところで0-18は何の数だと思いませんか?それは37年前に小禄中に赴任した時、優勝旗の数が0本でした。それが3年後には18本になったものです。その当時の下地保君や長嶺重信君は今や、沖縄のトップクラスのハンドボールの指導者です。では、21-22は何でしょう?それは、海邦国体前の県高校総体における那覇高对小禄高の決勝戦のスコアです。沖縄県のレベルは高くなかったのですが、全国大会では小禄高校が逆転に次ぐ逆転で県勢初の全国制覇を成し遂げたのでした。まさにチームケミストリーが起きたのです。他にも中学校では2,4の評定平均、欠席日数280日の生徒が高校に上がると評定平均が5,0、欠席日数が5日となり、なんと琉球大学に現役合格を果たしたのです。きっかけは英語の先生の「英語すごいね、英検受けたら」の一言でした。まさに人は「やればできる」のです。私の尊敬する加藤廣志氏(能代工高バスケ元監督)の言葉を紹介します。「般若の丘に立つ。そこを歩む監督の胸には燃えるような情熱があった。時には生徒と真正面からぶつかることもあった。しかし、自分の魂に火がついていなければ、人を燃やすことはできない。生徒に宿った炎はやがて伝統をつくり、指導者になったOBとともに全国に広がった。情熱があれば、たった一日でも人は変わることができる。私は、そう信じている。」この言葉は私の座右の銘です。那覇西は全校生徒の聞く態度が本当に素晴らしいです。

指導者の心に火が灯らなければ、選手の心に火は灯らない。(能代工高バスケ元監督 加藤廣志氏)